

平成28年 NO. 3

# コミュニティ・スクールだより

学校・家庭・地域の連携と保幼小中一貫教育

H28.11.1

(事務局：国見町教育委員会学校教育課 ☎585-2892)

## 第3回国見学園コミュニティ・スクール委員会報告

10月18日（火）県北中学校5校時の授業を参観しました。どの学級も集中して学習する様子が見られ、委員の皆さんも生徒と一緒に授業を受けているような気持ちになったようです。

さて、コミュニティ・スクール委員会の熟議（話し合い）では、各学校が今現在課題と思われるものをテーマに設定し、意見交換を行っています。

今回の

**熟議テーマは「部活動の再編をどう進めるか」**です。

湯浅校長先生から現状について以下の説明がありました。

「中学校において部活動の教育的意義は大きいものがある。子どもたちの頑張りや顧問の先生方の指導、そして保護者の支えや外部コーチの協力もあり成果があがっている。

しかし生徒数の減少、それにとまなう教員数の減少が見られ、今現在も中体連大会への参加はぎりぎりの状態で行っている。来年度は教員数が2名減になる見込みであり、10年以内には教員数は半数になることが予想される。

安全への配慮から顧問2名配置が原則となっている実態もあるので、生徒の思いや希望を大事にしながら部活動再編へ向けた取り組みを始めなければならない時期にきている。

今後保護者や関係機関との話し合いや連携も十分に考慮しなければならないと考えている。」

以下に、班ごとの話題や提案をお知らせします。

〈1班〉

- ①男女を一つの部にすることで顧問の数を少なくしてはどうか。
- ②専門の外部コーチを招いて、教員の負担を軽減してはどうか。
- ③スポーツ少年団との関わりを大切にしながら新たな道を模索してはどうか。
- ④伝統にこだわらず、保護者や生徒と今後に向けて部活再編についてルールづくりをしていく。保護者と生徒が納得できるものにしたい。
- ⑤全員参加の部活としないことで、再編が促されることも考えられる。



熟議（話し合い）の様子 ICT教室

〈2班〉

- ①団体として成立しない部は検討を要する。人数の少ない部はなくす方向で考えるしかない

いのでは。その生徒達の受け皿として地域、スポ少との連携を考えてはどうか。そして中体連に参加することを目標とさせていきたい。

- ②生徒数の減少から部活の数を減らすのはやむを得ない。また、部活動はコミュニケーションの場でもあるので所属することが望ましい。
- ③文化部を充実することも考えられる。

〈3班〉

- ①部活の数を減らすしかない現実がある。
- ②受け皿のあるスポーツは地域に願います。
- ③陸上部を創設し、地域のスポ少と関連させて各種目の練習や参加をすることも考えられる。
- ④廃止をする予定の部においては、現在1年生が在籍中は存続し、新1年生は入部は受け付けないとはどうか。
- ⑤部活動設置の基準について、ルールを検討し、場合によっては新たな部を創設することも考えられる。

以上です。

部活動再編は生徒にとって大変身近で切実な問題です。性急に進めることは避けなければなりません、方向性を明確にしておくことが必要です。校内教職員、保護者、そして地域のスポーツ少年団活動とも関連する部分があります。国見町の子どもたちが主体的な部活動を通して技能だけでなく心も身体も成長できるものとなるようみなさんで支えてくださるようお願いいたします。

#### 第4回コミュニティ・スクール委員会開催について

期日：平成28年12月14日（火）9：30予定

会場：くにみ幼稚園

保育参観、熟議（意見交換）を行います。

地域の皆様も参観や会議の傍聴ができます。詳細は国見町のポータルサイトにてお知らせをします。

### 学校支援ボランティアを随時募集しています！

保育所・幼稚園・小学校・中学校の子どもたちのために、学習、保育、安全、環境整備などを応援してくださるボランティアを募っています。

【お問合せ先】

国見町学校支援地域本部コーディネーター 担当 中野由起子

電話585-2676（観月台文化センター）

※不在の場合は、学校教育課585-2892へお願いします。